

1 単元名 「全員なかよしプロジェクト」

2 単元の評価規準

探究する力	かかわる力	自分に生かす力
自分で必要な情報を収集したり、取捨選択をしたりしながら、まとめていくことができる。	自分の考えを他者に伝えたり、他者からの意見を自分の考えと比較したりしながら、次の課題を考えていくことができる。	- 社会的な課題を自分事として考え、解決に向けて取り組もうとしている。 - 友達の意見を受け、自分の考えを深め、よりよい活動にしていこうとする。

3 単元のとらえ

本学年の児童は、コロナ禍の影響を受け、3年次からなかよし班活動、運動会など様々な行事の制限を受け、同学年、他学年の児童と一緒に協力して何かをしてきたという経験が少ない。また今年度から、コロナの制限がなくなり、6年生として、1年生のお手伝いに行く機会が増えた。そのような経験を通して、総合でも下級生と関わりたいという思いを児童がもつようになったことから、今回、この題材にすることにした。前期は、1年生を中心にと交流を行い、後期はなかよし班活動を中心に、他学年に交流の幅を広げ、活動をしていくことで、6年生としての関わり方を学べるように計画をしている。

総合の学習の時間の話し合いの中では、そのような経験をもとに相手のことを考えて発言する姿、安全面などの配慮をしながら、対象の児童が楽しめる遊びを探る児童の姿など見ることができると期待したい。

なかよし班活動がしばらくなかったので6年生としての考え方や関わり方を知らない児童が、この単元、活動を通して最高学年としての自覚や思いが育っていくことを期待していくとともに、後期から始まるなかよし班活動の心構えにしていきたいと考える。



4 本時の指導

本時の目標 前回の活動のよかった点、改善点をもとに、さらによりよい活動ができるように話し合いを通して考えたり計画したりすることができる。

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
よりよい活動にするために、改善点への対策を考えよう。 1. (できていなかったことを前面に出し、改善点を話し合う。) <u>(1) 全体について(全体で話し合い)</u> (1年生との関わり) ・静かに話を聞いてくれなかった。 ・年生にもっと名前を呼んであげたらよかったと思う。そうしたら1年生も名前を呼んでくれたと思う。 (計画の準備) ・流れが悪かった。まく時間差ができなかったからだと思う。もっと、こうしたほうがいい。 ・全体で打ち合わせができなかったからずれがあった。 →改善点が出そろったところで、次の活動ではここについてしっかりやっていこうということを確認する。 <u>(2) 各グループについて(グループで話し合い→全体報告)</u> ・スタートグループは、△△のことについて、〇〇という意見が出ました。 ・宝探しグループは、△△のことについて、〇〇という意見が出ました。 ・バクダンゲームグループは、△△のことについて、〇〇という意見が出ました。 ・新聞ゲームグループは、△△のことについて、〇〇という意見が出ました。 ・じゃんけんグループは、△△のことについて、〇〇という意見が出ました。 ・ゴールグループは、△△のことについて、〇〇という意見が出ました。 ・共通して言えることは、△△のことについて、〇〇だからそこは直したい。 2 全体報告を聞いてさらにより手立てはないかなど確認する。 ・〇〇グループの話を聞いて、もっとこうしたほうがいいと思った。 3 今日の活動を振り返る。 ・学習カードに今日の記録をする。 4 今日の振り返りをもとに、次の活動をどうするか自分の考えを書く。	
○「全体の流れ」、「各グループの流れ」「1年生との関わり」の視点から考えていけるようにする。 (よかったことや改善点を箇条書きし、改善点についての対策を考えるようにする。) ○視覚的に分かるように、色画用紙にまとめ、できたことやできていなかったことがわかるようにする。 ○どこかのグループの責任にするのではなく、もっとこうするといいよというアドバイスをし合うような時間になるよう声をかける。 ○グループの意見は集約して、さらなる改善点がないか全体に返したり、共通するところは全体の改善点として確認したりする。 【思考・判断・表現】 「よりよい」活動について自分なりに捉え、自分の考えを伝えることができる。	